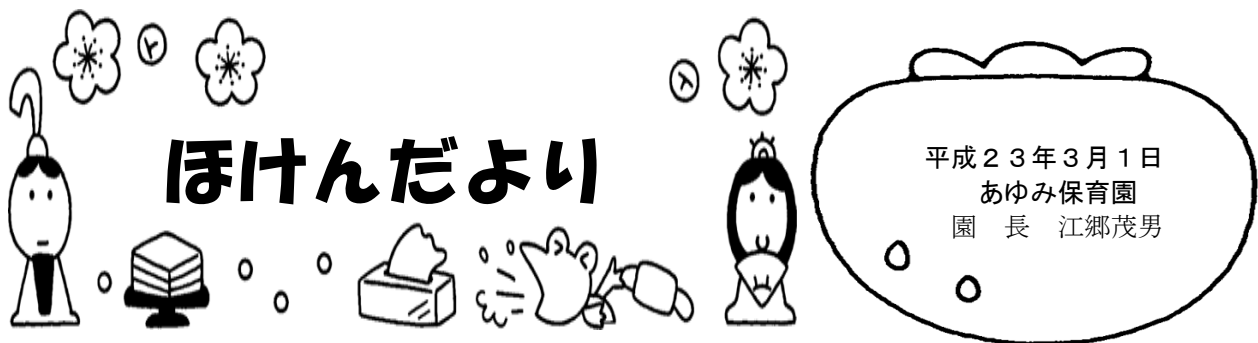
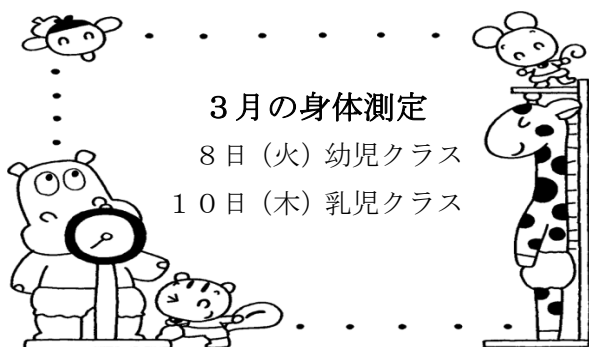




早いもので、今年度も残り1か月となりました。桜が咲く時期もうすぐです。4月は、きりんさんは、小学校に進学、在園児は進級があります。この1年間お子様の成長は目覚ましいものがあつたのではないのでしょうか。お子様を毎日見ていると、昨日出来なかったことが出来るようになったりと、成長を実感します。みんな元気に新年度を迎えられるよう、最後のひと月大切に過ごしていきましょう。



＜2月の感染症＞			
インフルエンザ：幼児クラス（ぺんぎん含む）		合計	19名
マイコプラズマ：幼児クラス			1名
感染性胃腸炎：乳児クラス			1名
下痢・嘔吐症状：乳児クラス			3名
		幼児クラス	5名

進級・就学を控えて 気持ちが不安定になる時期です

新年度を控え、多くの子どもたちが、「1つ大きくなる」という喜びでいっぱいな時期です。ただ、なかには、大人の期待を過剰に受け止めて、気持ちが不安定になる子どももいます。今までなかったのに、急に次のようなようすが見られたら、何かストレスを感じていることがないかどうか、注意してみてください。

指しゃぶり・つめかみ

どもり



チック

・・・先月はインフルエンザが流行しました・・・

2月は、あゆみ保育園ではインフルエンザが流行し、合計19人のお子様が罹患しました。21日(月)は1日の合計が10名を超えてしまったため、多摩立川保健所に報告をし、保健所の指導により、全ご家庭にお手紙を配布させていただきました。保護者の皆様には、行事の縮小にご理解をいただいたり、お子様の登園を自粛して下さったりとご協力を頂きました。有難うございました。

耳を健康に！

3月3日は耳の日です。ちょっとした不注意が、中耳炎・外耳炎の原因になることもあります。日ごろから気をつけるようにしましょう。



気をつけよう！ 耳の病気

外耳炎

＜原因＞

耳の入り口から鼓膜までの外耳道に炎症や湿しんができた状態。耳あかが原因になることもある。

＜症状＞

湿しんができるとかゆい、耳を触ると痛い。発熱やうみが出ることもある。

＜治療＞

抗生物質の点耳薬や内服薬を使うと、1週間程度で治まる。

＜ポイント＞

外耳炎になったら、耳をむやみに触らないように。

急性中耳炎

＜原因＞

かぜが原因で起こることが多く、ウイルスや細菌が中耳に達して炎症を起こした状態。

＜症状＞

激しい耳の痛みと、高熱。一時的な難聴・閉そく感がある。耳だれが出たり、乳児の場合は、嘔吐や下痢が見られることも。

＜治療＞

化膿していなければ、抗生物質の服用で、ほぼ治まる。

＜ポイント＞

繰り返し中耳炎を起こすと、滲出性中耳炎になりやすいので、きちんと治すように。

しんじゅつせい 滲出性中耳炎

＜原因＞

中耳内に分泌液がたまつた状態。かぜや、急性中耳炎の繰り返しが原因で起こる。

＜症状＞

痛みや熱はないが、耳が聞こえにくくなったり、閉そく感・耳鳴りがある。

＜治療＞

必要に応じて鼓膜を切開し、たまつた液を抜いてようすを見る。分泌液が吸収されて、自然に治ることも多い。

＜ポイント＞

痛みがなく気づきにくいので、耳の聞こえや様子の変化に注意。